

- 問1 北海道の農業について、生産統計で全国の約78%のシェアを占める「じゃがいも」と、約79%を占める「てんさい」の共通する特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 亜熱帯の温暖な気候を好む作物である
  2. 寒冷な気候での栽培に適した作物である
  3. 水はけの悪い湿地での栽培に適した作物である
  4. 成長に大量の高温多湿な環境を必要とする作物である
- 問2 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。
  2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。
  3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。
  4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。
- 問3 日本の人口約1億2700万人に対し農業従事者が約340万人（約2.6%）である統計と、北海道の人口約538万人に対し農業従事者が10.4万人（約1.9%）である統計を比較したとき、北海道の人口に対する農業従事者の割合に関する説明として正しいものはどれですか。 (2021年 兵庫公立入試 類似)
1. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている
  2. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を上回っている
  3. 人口規模に比例して、農業従事者の割合は全国平均と一致している
  4. 大規模農業が盛んなため、人口に対する農業従事者の割合は全国で最も高い
- 問4 ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。 (2025年 群馬公立入試 類似)
1. 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備
  2. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
  3. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること
  4. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること
- 問5 北海道の平野部について述べた次の文のうち、石狩平野の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、北海道の地形において石狩平野は西部に、十勝平野は東部に位置しています。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。
  2. 火山灰が厚く堆積した土地を活かし、ジャガイモやテンサイなどの畑作が行われている。
  3. 冷涼な気候と広い土地を利用し、乳牛を飼育する酪農が最も盛んである。
  4. 険しい山々に囲まれた盆地であり、夏に高温になる気候を活かした稲作が行われている。
- 問6 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。 (2026年 三重公立入試 類似)
1. 農林水産業を主体とする第一次産業
  2. 製造業や建設業を主体とする第二次産業
  3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業
  4. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業
- 問7 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知公立入試 類似)
1. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。
  2. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。
  3. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。
  4. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。
- 問8 日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 亜寒帯（冷帯）
  2. 温暖湿潤気候
  3. 西岸海洋性気候
  4. ツンドラ気候
- 問9 北海道の沿岸部に位置する各都市と、それらが面している海域の名称の組み合わせとして、地理的な位置関係が正しいものはどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)
1. 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。
  2. 小樽市はオホーツク海に面しており、網走市は日本海に面している。
  3. 小樽市は太平洋に面しており、網走市は日本海に面している。
  4. 小樽市は日本海に面しており、網走市は東シナ海に面している。
- 問10 国際連合の専門機関の一つで、教育・科学・文化の振興を通じて国際平和に貢献することを目的としており、人類共通の財産を保護するための「世界遺産リスト」を管理している組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. ユネスコ
  2. ユニセフ
  3. 世界保健機関（WHO）
  4. 国際労働機関（ILO）
- 問11 北海道の根釧台地にある別海町と、内陸の盆地に位置する旭川市の夏の気候を比較した際、別海町に見られる特徴と、それに関連した土地利用の様子を述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。
  2. 旭川市よりも夏の気温が高く、日照時間が長いので、広大な土地を利用した稲作や畑作が盛んに行われている。
  3. 旭川市に比べて冬の積雪量が圧倒的に多いため、冬の間の産業として酪農ではなく林業が中心となっている。
  4. 旭川市に比べて降水量が極端に少なく、夏は干ばつに見舞われやすいため、大規模なダムと灌漑施設を利用した酪農が行われている。
- 問12 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 (2023年 福井公立入試 類似)
1. 札幌市
  2. 金沢市
  3. 宮崎市
  4. 大阪市
- 問13 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 経営規模の拡大と機械化
  2. 地産地消と手作業の重視
  3. 減反政策と多角経営
  4. 施設園芸農業と有機栽培

## 答え合わせ・解説

問1	答え 2 寒冷な気候での栽培に適した作物である	北海道は梅雨の影響が少なく、夏でも比較的涼しいという気候の特色があります。この条件を活かし、寒さに強い「じゃがいも」や「てんさい」といった作物の栽培が大規模に行われています。じゃがいもは食用やでんぷんの原料、てんさいは砂糖の原料として、全国の食卓を支える重要な農産物となっています。これらは稲作が困難だった寒冷な地域において、重要な基幹作物として発展してきました。
問2	答え 1 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。	北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模な経営が特徴です。統計資料によると、北海道の耕地はその多くが牧草地であり、そこで生産される生乳の約8割以上がバターやチーズなどの加工用原料に充てられています。これは、都府県の生乳が主に鮮度が重視される飲用として利用されている状況とは対照的です。
問3	答え 1 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている	北海道は日本最大の食料供給基地であり、広大な耕地面積を有していますが、全人口に対する農業従事者の割合は約1.9%であり、全国平均の約2.6%を下回っています。これは、札幌市などの都市部に人口が集中していることや、1戸あたりの経営面積が大きく、機械化によって少ない人数で効率的な生産が行われていることが要因として挙げられます。
問4	答え 1 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、二セコモデルの本質的な取り組みです。
問5	答え 1 かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。	石狩平野の最大の特徴は、泥炭地という厳しい自然条件を土地改良によって克服し、水田地帯へと発展させた歴史にあります。選択肢にある火山灰地での畑作は十勝平野、大規模な酪農は根釧台地、盆地での稲作は上川盆地などの特徴であり、それぞれの地域の土地条件と農業形態を関連付けて理解することが重要です。
問6	答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問7	答え 1 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問8	答え 1 亜寒帯（冷帯）	日本の大部分は温暖な温帯に属していますが、緯度が高い北海道地方は、世界的な気候区分において亜寒帯（冷帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒冷な気候に耐えるための針葉樹林が広がっていることや、本州で見られるような梅雨や台風の影響を比較的受けにくいといった特徴があります。
問9	答え 1 小樽市は日本海に面しており、網走市はオホーツク海に面している。	北海道は周囲を複数の海域に囲まれています。西側の石狩湾に面した小樽市は日本海側に位置し、歴史的に北前船の寄港地としても発展しました。一方、北海道の北東部に位置する網走市は、冬に流氷が接岸することで知られるオホーツク海に面しています。太平洋は北海道の南側から東側にかけて広がっています。
問10	答え 1 ユネスコ	第二次世界大戦後の1946年に創設された組織で、正式名称を国際連合教育科学文化機関といいます。教育や文化活動を通じて諸国民の連帯を強めることで、戦争の防止と平和の維持を目指しています。世界遺産条約に基づき、価値のある自然や文化財を登録・保護する活動で広く知られています。
問11	答え 1 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。	内陸の盆地にあり夏に気温が上がりやすい旭川市に対し、根釧台地に位置する別海町などは海霧の影響を強く受け、夏でも低温であることが統計資料などからも読み取れます。この冷涼な気候を背景に、土地利用においても耕地や果樹園ではなく、牧草地が圧倒的な面積を占めているのが根釧台地の大きな特色です。
問12	答え 1 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問13	答え 1 経営規模の拡大と機械化	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わさることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。